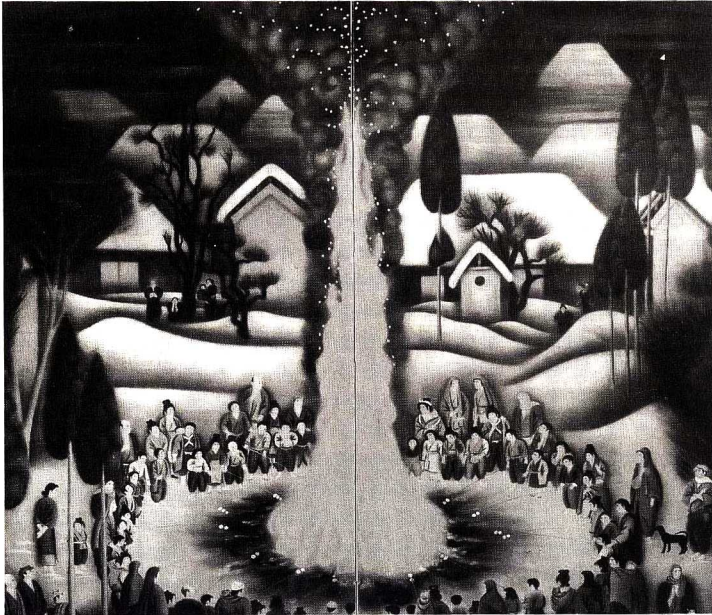


(3) 人びとのたのしみ



さいのかみ

(酒井三良画)

朝の暗いうちにおき出して田畑に出て、夜暗くなるまではたらいした人びとの楽しみは、きせつ、きせつに行われる行事でした。それらの行事には、家ぞく

全員がそろってさんかしました。

テレビもなく、ごらくを楽しむことがなかった人びとにとって、お宮のけいだいにかかると、<sup>たびまわ</sup>旅回りのしばいは、大きな楽しみでした。また<sup>かんのんこう</sup>観音講、<sup>こぶがはらこう</sup>古峯講に集まっのんだり食べたりするのも楽しみでした。

村しばい

(酒井三良画)

